

2021年
vol.77

訂正版

金沢脳神経外科病院通信

コールセンターの電話番号の記載に不備がございましたことをお詫びいたします。

クローバー

創立40周年によせて

脳の病気という怖いイメージがあるかと思います。そもそも脳の病気の診断はかつてはかなり難しいものでした。脳は頭蓋骨という硬い殻に覆われています。そのためレントゲンによる検査ではほとんど診断にならずこれが胸部や腹部などとは大きく異なるところです。脳の詳しい検査といえば脳血管撮影、脊髄造影等々造影剤が必要でかなり手間のかかるもので今にして思うとそのための道具も不便なものでした。しかし、1970年代初頭にCTスキャンが発明され脳の中が比較的簡単に検査できるようになりました。脳卒中の代表は脳梗塞と脳出血ですが、これはどちらも同じような症状が起きるため診断が難しいものでしたが、CTスキャンにより容易に診断がつくようになり、くも膜下出血も穿刺し脳脊髄液の採取をしないとわからなかつたものが針を刺さなくてもわかるようになりました。さらに1980年代にはMRIが臨床的に活用されるようになりました、頭蓋骨や脊椎の影響をうけずに検査ができ、脳脊髄の評価を詳細に行なうことができるようになりました。MRIは発展を続け現在では造影剤を用いずに横になっているだけで、脳血管の詳細な評価が可能となり脳などの状態を正確に診断することができるようになりました。

私たちの金沢脳神経外科病院も診断機器の発展と歩調を合わせ診療内容が日々変化しています。脳卒中の治療が根幹ですが、脳出血なら全身麻酔を必要としない定位的血腫除去が可能となり、脳梗塞の急性期には血栓溶解からさらに近年では詰まった血栓を直接回収できるようになりました、くも膜下出血では出血源の治療を開頭術だけではなく血管内手術で可能となってきています。さらにくも膜下出血になるまえの状態の方を脳ドックで発見し、発症を未然に防ぐことも多くなりました。さらに、脳卒中の症状が急性期では改善しない場合には回復期リハビリテーション病棟でリハビリテーションを継続しできるだけ良い状態で退院していただく努力をしています。重度の意識障害が遷延している方は療養病棟でできるだけ状態が安定するよう治療を継続しています。

脳卒中以外では頸椎腰椎などの脊椎疾患の治療を積極的に行っており、全国的にも数少ない施設でしか行われていないパーキンソン病の外科的治療をすることができます。

当院は昨年創立40周年を迎えました。診断機器の発展と治療方法の改善はこれからも続きます。これからも時代に遅れないようさらには時代の先を行く治療ができるよう努力していきます。



病院長
山本 信孝

当院におけるコロナウイルス対策 ~持ち込まない~

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当院をご利用の方々には大変ご迷惑をおかけしています。職員も自らが感染者にならず、持ち込まない持ち込ませないという使命感を持ちながら日々の業務に当たっています。



職員の体調管理

職員通用口にはサーモグラフィを設置し、一人一人が出勤時に体温を測定し、体調管理を徹底しています。



面会制限にともなう 洗濯物等の受け渡しについて

当院では現在も面会制限を行っており、入院患者さんとご家族の接触を極力避けて頂いています。

洗濯物等の受け渡しにつきましては家族面会証をお持ちの方のみとさせて頂き、受け渡しは各病棟のスタッフステーションにて行います。

平日の 14:00~17:00 に各病棟にお越しください。



条件付きPCR検査の実施

新型コロナウイルスに感染している方が手術を受けた場合、ご本人の予後不良の可能性があるだけでなく、院内感染を引き起こしクラスターが発生する危険があります。

当院でも昨年末にPCR検査機器を導入し、手術や血管造影検査を受けられる方はすべて検査を行い、入院中または入院予定の患者さんに対しても主治医の判断により適宜検査を行っています。





持ち込ませない～

新型コロナウイルス感染症に関する対応について (令和3年2月1日現在)

新型コロナウイルス感染症の流行が再来し、拡大しています。当院では入院中の患者さん・医療従事者等を感染から守るために、院内の感染対策を再度強化します。ご不便をおかけしますがご了承願います。(病院長)

【診療について】

① 咳や発熱等の症状がある場合や、咳止め薬や解熱剤を服用している場合は、当院へは来院せず、石川県発熱患者等受診相談センター(コールセンター)へご相談ください。

●石川県発熱患者等受診相談センター(コールセンター)

電話 0120-540-004(フリーダイヤル) ※土日祝日含めて24時間対応

② 従来どおり予約・紹介状のある患者さんは受付します。

③ 同伴者については極力少なく、特にお子様は可能な限りご遠慮ください。

【面会制限についてのお願い】

新型コロナウイルス感染症の流行に対して、以下の点にご留意ください。

① 面会は**全病棟で原則禁止**しています。(期間未定)

② 入院中の患者さんの外泊・外出は原則禁止しています。

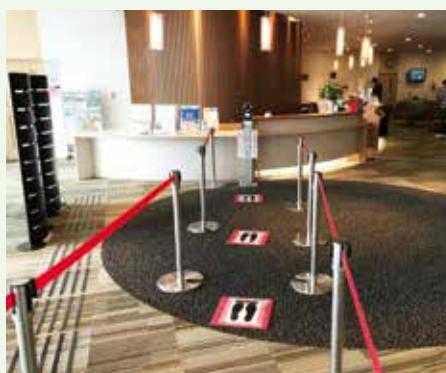
③ リハビリ等に患者さんが出療する場合も、面会は出来ません。ただし介護調査や退院に向けた介護指導等、治療と見なされる場合は考慮いたします。

④ 緊急時や手術前後など医師から説明を受ける場合は2名以内で短時間で面会して頂きます。

※いずれも発熱、感冒症状等がないことを確認しマスクの着用、手指消毒をお願いします。

【来院時の検温にご協力ください】

来院される方すべてにサーモグラフィによる検温を行っています。(発熱37.5度以上が確認されましたら当院での受診はご遠慮頂きます。) 担当の職員が常駐してご案内します。



上記の内容は2月1日現在の見解であり、対応に関して常時変更となる可能性があります。最新情報は当院のホームページにも掲載しています。



救急症例症例検討会

1月25日に救急症例症例検討会を開催しました。

当院では医師と救急隊員が、実際に搬送された症例とともに、現場活動を定期的に振り返りかえっています。

新型コロナウイルスの影響で昨年3月より延期になっていましたが、感染対策しながらようやく再開することができました。

今回は2症例を検討したのち、「てんかん、痙攣について」と題して小勉強会を行いました。

当院は「24時間365日断らない救急」を基本方針としています。これからも救急隊の皆様と密に連携を図り、地域の救急医療に貢献できるよう邁進していきます。



耳寄りな講演会(WEB) in 金沢市地域包括支援センターながさか

1月13日、金沢市地域包括支援センターながさか様よりご依頼をいただき、耳寄りな講演会をZOOMにて行いました。耳寄りな講演会は基本的には地域の公民館など一般の方からのご依頼を受けておりますが、医療従事者からの依頼も受けております。

今回は管理栄養士による「低栄養予防 フレイルってなんだろう」というテーマで講演を行いました。

フレイルとは「虚弱」を意味する「fality」を語源とした言葉で、虚弱状態をいいます。

最近はテレビなどでも取り上げられるようになったので聞いたことがある方も少なくないと思います。超高齢化社会となった現代では、健康寿命を延ばすため知っておくべき知識だと思います。WEB会議システムを使っての講演会は初の試みで不安もありましたが、新たな発見も多くありました。コロナ禍によって様々な制限がありますが、今回の経験を生かし、これからも地域医療の底上げを目指して活動ていきたいと思います。



病院
理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様に、より高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。



日本医療機能評価機構 認定病院

医療法人社団 浅ノ川

金沢脳神経外科病院

石川県野々市市郷町262-2
TEL:076-246-5600 FAX:076-246-3914
<http://www.nouge.net>

金沢脳神経外科病院 広報誌 第77号 発行:広報委員会
2021年2月25日発行